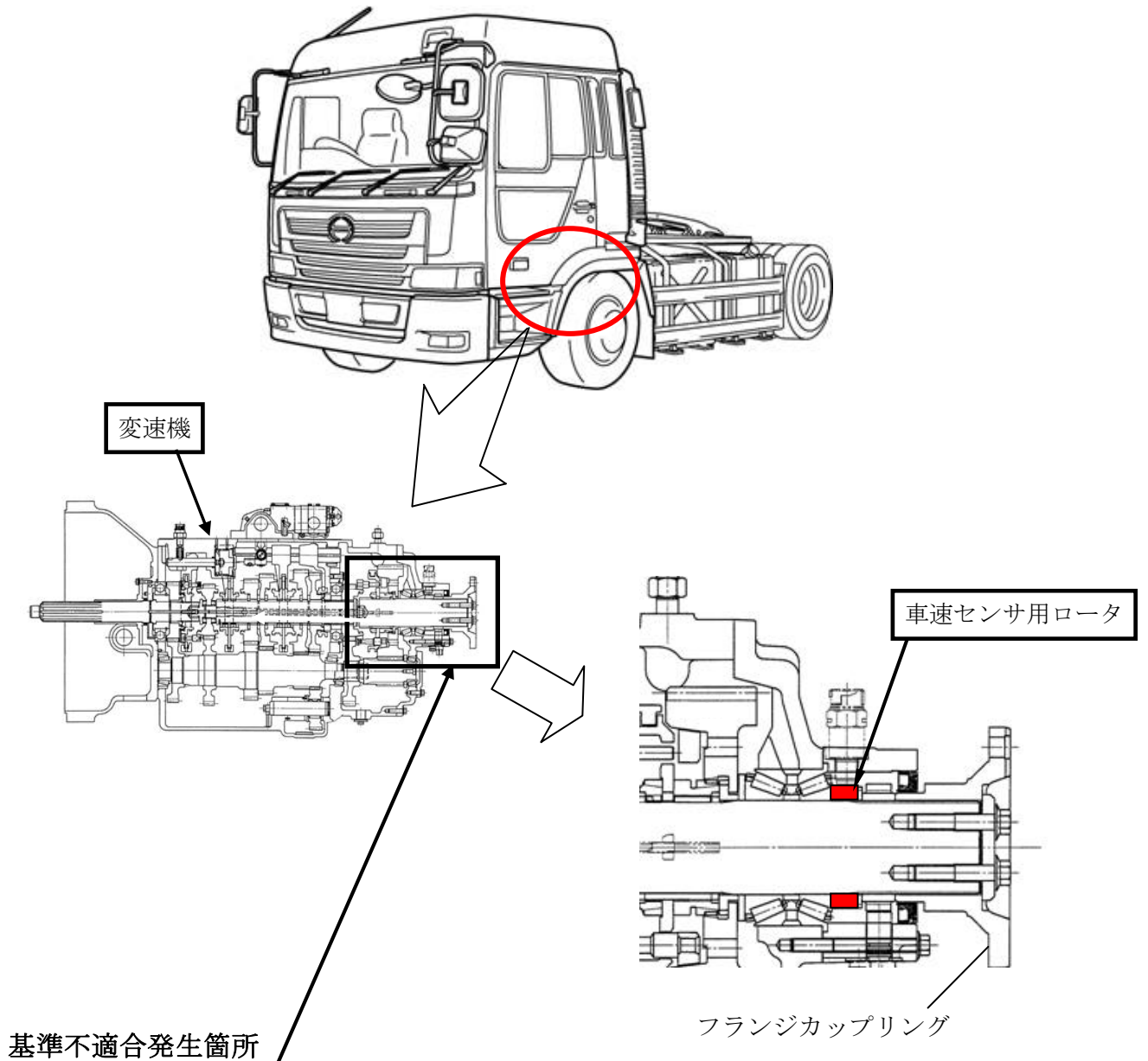


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

変速機内部の車速センサ用ロータの表面硬度が不適切なため、ロータ端面が摩耗し、変速機後端のフランジカップリング締付ボルトが緩むものがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、フランジカップリングが抜け出し、プロペラシャフトとともに脱落するおそれがある。

改善の内容

全車両、当該変速機の銘板を確認し、該当するものは点検をして、車速センサ用ロータまたは変速機を対策品と交換する。

識別：ネームプレートに黄色ペイントを塗布する。

注： は、交換する部品を示す。